

# ほんごう

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

No. 19 2015年(平成27年)10月発行  
〒939-8630 富山市本郷町13番地  
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会  
発行責任者 石山 彰雄  
印刷 / 株式会社 宮越印刷

## 平成27年度 富山高等専門学校同窓会総会 ほんごう会大懇親会 に 多数の参加を！！



### ほんごう会大懇親会 (平成27年度 富山高等専門学校同窓会総会)

場所 / ホテルグランテラス富山  
(旧名鉄トヤマホテル)

会費 / 30才未満及び女性 ￥3,000  
30才以上の男性 ￥5,000  
新卒者 無料

恩師の先生方にも御案内しています。

なお出席の方はメール、FAX または同封の  
はがきにて、10月30日までにお知らせ下さい。

### 11月7日(土)

PM5:00~ 富山高等専門学校同窓会総会

PM6:00~ 富山高等専門学校  
本郷キャンパス同窓会懇親会  
(ほんごう会懇親会)

詳しくはほんごう会ホームページ

ほんごう会 検索

または、同窓会メールまで  
E-mail: info@tk-hongou13.net

いっぺんこられまあー



## 「ご挨拶」

校長 石原 外美

同窓生の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から母校に対し何かとご支援を賜っております。厚く御礼を申し上げます。

母校の近況紹介も兼ねて、一言ご挨拶を申し上げます。

さてご承知のように、富山高等専門学校は、平成21年10月、富山県内の2つの国立高専、富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校の統合によって誕生しました。平成27年3月には、統合後の第一期生をめでたく送り出すことができました。また、平成27年10月5日には創立50周年・創基110周年記念式典をオーバードホールにて開催します。

富山高等専門学校には、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、並びに電子情報工学科の工学系4学科と、文系の国際ビジネス学科、そして商船学科の6学科があり、全国の他の高専と比較して、幅広い教育研究分野を有するという大きな特色、強みがあります。

富山高等専門学校では、3つの教育理念を掲げています。すなわち、第一に、「創意・創造」、第二に「自主・自律」、そして第三に「共存・共生」です。以上の教育理念の下、本科では、人文科学、並びに社会科学を含めた一般教養に関する授業、専門分野における実験・実習、それから演習を多く取り入れた授業など、学生の理解を深め、そして実践力を身に付けるため、五年一貫の教育を行っています。工学系の4学科にあっては、産業界のニーズに適合した幅広い分野の基礎技術と問題解決力等を身に付けた技術者の育成、国際ビジネス学科にあっては、地域社会並びに地域産業に貢献できるビジネスパーソンの育成、そして商船学科にあっては、我が国の海運界を担う船舶職員として活躍できる人材の育成を行っています。

いずれの分野においても、グローバルな視点を持った国際的に活躍できる人材の育成を行うために、アメリカ、ヨーロッパ、アジアに所在する本校と強い関係にある高等教育機関と連携して、海外研修、異文化体験、海外インターンシップ等を強力に推進しています。

これまで、本科卒業生の約半数が、国立大学への編入学、あるいは本校の専攻科へ進学し、残り半数が企業に就職しています。専攻科では七年一貫の人間力、問題解決力、グローバル力を重視した教育を実施しています。修了生の約半数が大学院修士課程へ進学し、約半数が企業へ就職しています。

富山高等専門学校は、(1)教育・研究内容の高度化、(2)国際的に活躍できるグローバル人材の育成、(3)専攻科の充実と強化、そして(4)共同研究、技術相談を通じた社会貢献を、重点目標として掲げ、これらに取り組んでいるところです。お陰様で、上記(1)～(4)の目標において、指標となる、科学研究費採択件数、企業との共同研究件数、学生・教職員の国際交流実績等において、全国51高専の中でトップ、もしくは上位の位置にあります。また、平成26年には、認定申請を行った本校専攻科の全てが特例認定専攻科の認定を受けました。今後、さらに上記(1)～(4)の目標を進め、成果をあげるためには、同窓生の皆様方との連携強化が極めて重要であると認識しています。

富山高等専門学校は、地域の皆様に愛され、そして信頼される高等教育機関となるよう、教職員一同、一丸となって努力して参ります。どうぞ、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 激動の平成27年

同窓会長 石山 彰 雄

平成27年3月に挙行された卒業式は、富山工業高専と富山商船高専の統合後初の卒業式となりました。

それに合わせるべく、同窓会組織も富山工業高専同窓会「ほんごう会」と富山商船高専同窓会「北斗会」も形式的にはありますが、統合した富山高等専門学校同窓会を立ち上げました。

しかし、実行体はあくまで「ほんごう会」と「北斗会」であり事業予算もそれぞれの同窓会からの拠出金のみであり、独自の予算計上はありません。

卒業式に続く卒業祝賀壮行会についても、従前「ほんごう会」においては同窓会、後援会共催で実施していましたが、本年は学校主催形式となりました。

この点については、今後検討を要するものと私は考えています。

既に御案内のとおり10月5日には50周年記念事業が実施されます。

多数の募金など御協力頂き感謝申し上げます。

同時期に同窓会会員名簿を発行しますので仲間の情報などを確認して下さい。

又、今年と同窓会総会は11月7日(土)にホテルグランテラス富山にて実施します。この「ほんごう会」の総会に先立ち統合した富山高等専門学校同窓会の総会(事業報告など)も実施することとしていますので是非御参加下さい。

この11月7日に本郷キャンパスにて高専祭が開催されていますのでお立ち寄りされれば如何でしょう。

会報発行のたびに掲載しています「全国高専同窓会連絡会」も既に5年以上経過しているながら何ら具体的な組織が立ち上っていません。

今年こそはその正式な結成をしたいと考えていますが、どうなりますやら・・・

激動の平成27年にしたいものです。

しかし、嬉しいことに国会議員有志による「高等専門学校を考える議員連盟」が立ち上っています。高専制度がしっかり評価される制度である様に高専機構と共に「同窓会連合会」が声を上げてゆくことが非常に重要なのではないのでしょうか。

会員諸兄の御支援・御協力を切にお願い申し上げます。



定時理事会 (26.6.28)



臨時理事会 (27.2.28)

平成26年度富山高専本郷キャンパス同窓会事業報告・会計報告(抜粋)

平成26年度事業計画に基づき、それぞれの事業を実施すると共に学校・後援会との連携を更に深めるため、三者懇談会、各種行事などにも積極的に参加した。

産学連携を深めるための富山高専技術振興会にも、同窓会として積極的に参加した。

全国高専同窓会連絡会へも参加し、情報交換等を行った。特に今年度は射水キャンパスとの統合による同窓会組織の立ち上げを行った。

◎ 具体的事業

1. 同窓会総会・定時理事会・常任理事会の開催

- 同窓会総会 11月1日(土)
ホテルグランテラス富山
出席者 正会員 24名
特別会員(教官) 5名
講演会 瀬戸薫教授
定時理事会 6月28日(土)
ゴルフアートとやま
理事総数 219名
出席者数 13名(委任状提出者70名)
常任理事会 年間4回開催した。

2. 会報の発行

会報(No.18)を発行した。

3. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会開催

平成26年9月1日(月)午後6時 高志会館

4. 統合後初の卒業祝賀会

射水キャンパスとの統合後初の卒業生の誕生で、従来

の祝賀会とは異なる形式となった。本郷キャンパスからの直接の支援金などの負担はしなかった。今後、統合後の同窓会として対応を検討する必要がある。

5. 在校生・学生会への助成

- 水泳部、卓球部、茶道部、県道部に対し、それぞれ助成金を交付した。
ロボットコンテストでの頑張り期待してロボコン部へも助成金を交付した。

6. クラス会・クラブOB会活動への助成

- クラス会助成8件。

7. 全国高専同窓会連絡会への出席

平成26年11月22日(土)
東京 お茶の水ホテルジュラク

8. 技術振興会への出席 理事会・総会

平成26年10月31日(金)
ホテルグランテラス富山

法人会員 182 法人
個人会員 17 名

9. 「ほんごう会」「北斗会」の合同打合会の開催

平成27年3月28日(土)

高志会館

議題: 「ほんごう会」「北斗会」それぞれの年間事業及び予算
合同して行う事業・行事及び予算等の検討
今後の進め方

出席者: 「ほんごう会」石山、布村、長浜、打出の各理事
「北斗会」池田会長 外3名

平成26年度 決算報告

収入の部 平成26年4月1日~平成27年3月31日

Table with 4 columns: 項目, 決算額, 摘要, 要. Rows include 繰越金, 同窓会会費, 利息, 計.

支出の部

Table with 4 columns: 項目, 決算額, 摘要, 要. Rows include 総会費, 理事会費, 学生会助成費, ロボコン助成費, 渉外費, 事務局運営費, 会報発行活動費, 定期協議会費, 支部活動助成費, 祝賀壮行会費, 講演会費, 負担金, ホームページ維持費, 予備費, 繰越金, 計.

平成27年度 予算

収入の部 平成26年4月1日~平成27年3月31日

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 摘要, 要. Rows include 繰越金, 同窓会会費, 利息, 計.

支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 摘要, 要. Rows include 総会費, 理事会費, 学生会助成費, ロボコン助成費, 渉外費, 事務局運営費, 会報発行活動費, 定期協議会費, 支部活動助成費, 祝賀壮行会費, 講演会費, 負担金, ホームページ維持費, 特別事業積立金, 予備費, 繰越金, 計.

# 平成27年度 富山高専同窓会事業計画案

同窓会が、会員に身近なもので、気軽に参加できる体制作りと在校生を含めた広報、P.R.活動を積極的に実施する。

又、後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

産学連携の特徴である技術振興会のP.R.と支援。

全国の高専同窓会及び卒業生などとの連携・協力を推進する。

統合後の同窓会及び「北斗会」との連携を積極的に推進する。

## 具 体 的 事 業

### 1. 総会・理事会・常任理事会の更なる活性化

理事・常任理事等役員には、それぞれの立場での自覚を促すと共にきめ細かい出席要請を実施する。

今年の総会は、11月3日が火曜日なので11月7日(土)に開催する。

例年どおり、総会に先立ち講演会を実施する。

統合した同窓会の総会も同時に開催する。

統合による同窓会理事会も開催し「北斗会」との連携を強化する。

### 2. 会報の充実

会報編集委員会の充実により、より親しまれる会報を目指す。

### 3. クラス会・クラブOB会活動への助成

同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会開催に対し助成する。

助成金(1万円)の拠出条件

- ① 10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催
- ② 写真と会報用の簡単な原稿を提出
- ③ クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの申請(年1回のみ)

### 4. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会の開催

年間行事の打合せ等、情報の交換により、富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

同窓会は統合後の同窓会として参加する。

### 5. 卒業・修了式後の祝賀壮行会の開催について検討

昨年は新制度による卒業生が誕生し祝賀会が実施されたが、学校との連携がうまく取れていないので、同窓会・後援会主体の祝賀会とする様学校と調整する。

### 6. 在校生・学生会への積極的助成

在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。

### 7. ロボットコンテストへの助成

富山高専のロボットコンテストにおける成績向上を目指して同窓会としてできる支援を考慮する。

### 8. 在校生への講演会の実施

卒業生の社会での活躍をじかに感じてもらい、同窓会をP.R.する。

### 9. 全国組織への積極的参加

「ヒューマンネットワーク高専」及び「全国高専同窓会連絡会」と連携し情報の伝達を行う。

### 10. 富山高専技術振興会のP.R.と支援

技術振興会の設立趣旨を会員に広くアピールすると共に同窓会員も積極的に振興会へ参加してもらう様広報する。

技術振興会の事業に対しても積極的に参加する。

### 11. 50周年記念事業に対し積極的に参加する。

昨年度同窓会から300万円の寄付金を提供している。

## 同 窓 会 役 員 名 簿

	回 生	氏 名
会 長	M 3	石 山 彰 雄
副 会 長	M 4	丸 山 治 久
副 会 長	M 6	布 村 敏 夫
常 任 理 事	M 5	長 浜 啓 一
"	E 5	山 田 直 樹
"	M 8	宮 越 成 幸
"	C 10	打 出 孝 彦
"	K 8	奥 野 耕 市
"	E 10	櫻 井 豊
関 東 支 部 長	M 1	長 谷 治 男
監 事	M 1	浜 下 朝 夫
"	E 2	竹 中 直 志

# 会員のひろば クラス会・OB会情報

## 第一期工業化学科の同級会

北陸新幹線開業に併せ、5月24日(日)宇奈月温泉で4年振りに第一期工業化学科の同級会を開催しました。昨年の11月頃から準備に入り、ようやく開催の運びとなりました。皆さん、まとまりがよく、今回は、名水マラソン出場後、その足で参加した猛者や20年振りに参加した者もみられ、盛会で思い出深い会とすることが出来ました。

医院を開業している同級生の健康に関する話を聞いた後、宴会に移り、近況報告によれば、ボランティアとして地域貢献している者、あるいは、第一線で活躍している者、それぞれ60代後半に入った過ごし方を語りつつ、これからの人生設計や健康保持のあり方など夜遅くまで話に花が咲きました。また、2次会以降は、翌日まで盛り上がったグループもあり、みんな、少年期の性格はそのまま



富山高専1C 同窓会 宇奈月温泉サン柳亭(参加者26名)平成27年5月24日

継続しているのを懐かしく感じました。

今回は、福井県の予定ですが、北陸新幹線が福井まで延長していればということはありません。

幹事 第一期卒業生 岩田 助和  
新川 栄

## E3 旅行会

E3メンバーで毎年開催している旅行会、昨年2014年は11/22(土)~24(祝)の日程で、伊勢神宮参拝とグルメの旅を満喫して来ました。2013年の神宮式年遷宮その翌年参拝という事や、万年幹事の緻密な計画のお蔭で、北陸・関東・関西から11名もの仲間が参加、久しぶりの再会を楽しむ事が出来ました。

初日は各地からマイカーで鳥羽水族館に集合。まずは昼食に伊勢志摩名物「手こね寿司」で伊勢を実感。その後鳥羽水族館を見学、還暦過ぎても皆さん好奇心旺盛で、「へんないきもの研究所」には興味津々、人気の「カピバラ」ショーでは童心に帰って楽しめました。

一泊目は、お酒完全持込み制民宿「御座岬」。夕食の海鮮バーベキューは、海女さん自ら採ってき



てくれた食材を炭火で焼いてくれます。「伊勢海老」を一人一匹と贅沢に頬張り、持ち込んだ地酒も美味しいこと。海女さんとの会話も弾みます。

翌朝は渋滞を避けて、電車で伊勢神宮へ。内宮入口付近で見つけた「一升びん」。伊勢では有名な焼肉屋で、さっそく昼食に松阪牛ホルモンを頂き満足。「内宮」はさすがに混雑していて、待たされること約1時間、やっと参拝できて清々しい気持ちになりました。その後、「外宮」へ訪れたのですが、あまりの人気のなさに拍子抜けでした。

二泊目は鳥羽湾に囲まれた高級(?)ホテル「海の蝶」、ゆったりと快適に過ごす事が出来ました。翌朝、大王崎灯台を見学しLED化に驚き。その後、夫婦岩日の本信仰。昼食はあの有名な「和田金」で松阪牛の炭火焼です。和田金は席だけを11人予約したのですが、キャンセルで2人減ったのを連絡しなかったら、11人分の料理を注文させられる殿様商売(?)。でも2人分の肉をみんなで分けて丁度良い量でした。スキヤキは割下を使わず直接砂糖を振りかける作り方で、食文化の差にビックリ。

高級松阪牛に舌鼓を打ち現地解散、無事帰宅しました。しかしもう2015年の開催地と実施時期で紛糾中です。

参加者：(北陸)上田,川原,高田,館谷夫妻,中田,  
(関東)熊本,野村,安森,米田,(関西)嶋  
幹事：野村正信 報告：川原久雄

## M4の同級会

約40年振りに富山高専M4の同級会を富山市のホテルグランテラス富山で開催しました。

本当に久しぶりにお会いし、非常に楽しい時間を過ごすことが出来ました。当初18名参加の予定でしたが、当日は16名の方に参加頂きました。

久々の再会で、姿が変わって、思わず“君は誰？”という方。あまり変わらず、すぐに判った方。それぞれで、先ず楽しい思いをしました。

乾杯の後、直ぐに自己紹介をし、各自の氏名を再確認しました。その後、参加者の近況を報告をしてもらいましたが、従来からの仕事を延長で続けている方、定年退職し第二の仕事に就いている方等々で皆様まだまだ頑張っておられます。皆様のお話を聞きながら、昔の姿が浮かんできました。

不参加の方から連絡頂いた近況も席上報告し、懐かしく皆様を思い出しました。すでに7名の方がお亡くなりになったとのことで、時の流れを感じました。“また、集まろう”ということで、再会を約束して、閉会となりました。

開催日時：2015年8月15日(土)  
17時～20時30分



場所：ホテルグランテラス富山(旧名鉄ホテル)  
2階 朝霧の間

参加者：最終的に16名(当初出席予定の2名が欠席)  
内容

- (1) 乾杯
- (2) その後、すぐに各自自己紹介して、氏名を再確認
- (3) 欠席の方の動向として、返信葉書に記載のメッセージを紹介  
メッセージ記載集 及び 卒業アルバムを席上回覧
- (4) 一人一人の近況を発表
- (5) 締め

以上 報告者 M4 山崎 勝弘

## 6Mクラス会開催

昭和49年の春、富山高専を卒業した6Mのクラス会を平成26年12月13日(土)にアーバンプレイスビルの俵屋で開催しました。



九州から新潟、長野まで16名が参加し中には40年ぶりに再会した人もいました。

思い出話に花がさき、また物故した4人の同級生を懐かしみました。更に、参加できなかった人へ次々と電話をかけて、声だけですがクラス会に参加してもらいました。

県外メンバーによるオプションルツアーも企画されました。懐かしい路線バスで富山駅と高専を往復するといった内容でしたが、高専ではたまたま出勤しておられた6Cの安田先生のご案内で校内見学をさせてもらいました。

まだ現役の人、定年退職して第2の人生を歩んでいる人、病気療養中の人、これから政治の世界へ打って出ようとする人等々、歩んでいる道は違いますが、時々思い出しては気にかけてくれる同級生がいるということを感じた嬉しいひとときでした。

## M8 還暦同窓会

平成 27 年 8 月 14 日(土)、今年は還暦を迎えるにあたり、宿泊も可能な場所と言うことで呉羽ハイツにて M8 の同窓会を開催しました。

持ち回りの幹事のご足労により出席数 23 人という最多の参加者でした。

久しぶりに出席したメンバーも多く、定年後の生活の話や波乱万丈の人生を送ってきた者の話等、日帰りの者も数名いましたが泊まりが、ほとんどのためより親密に話し合える機会になりました。

去年、クラスメイトが 1 人他界したこともあり、毎年、元気な顔が見られることが楽しみな世代。みんな、そろそろ子供から手が離れ、孫がいる者も

何人もいる状況。しかし、このメンバーが集まれば一気にタイムスリップして、校庭にタイムカプセルを埋めた事など話題は尽きませんでした。

次の幹事を名古屋在住の二人に決め、来年は名古屋周辺で開催しよう、出来れば伊勢参りもやろうか?と盛り上がりました。

(幹事 翁、金森。文責 宮越成幸)



## 弓道部 OB 射会・懇親会

今年度の弓道部 OB 射会・懇親会を、ゴールデンウィークの土曜日である 5 月 2 日に開催しました。去年はお盆時期に開催しようとしたのですが、顧問の先生から開放の許可が下りなかったため開催出来ませんでした。しかしながらいつもの時期と異なっても沢山の皆さんが集まって頂きました。誠に感謝致します。

射会では久しぶりに弓を引くひとが大半であり、

皆さん大変苦労していました。なお例年通り日頃引いている現役の方が入賞にからむ的中数でした。その後のお菓子やジュース等を囲んで在学生と交流を行いました。最近の部活事情を聞いていると、土曜の練習日が隔週になったり、夏合宿や春合宿が無くなったりと高専らしさが失われつつあるように感じました。顧問の先生の必要以上の干渉は教育理念の「自主・自律」に則っていないように感じます。

懇親会は「月の都」にて 19:00 より行いました。飲み会ではそれぞれの会社のことや、進路の事がよく話題にあがりました。また再び弓道を始めると宣言する方もおられ来年が楽しみです。

来年度から GW 開催(次回 4/30 予定)になります。来年度も多数の参加をお待ちしております。なお今まで開催の案内は主に往復はがきでしたが電子メールへの移行を順次進めています。

tnc.t.kyudo@gmail.com に名前を記入のうえ送信して頂けたら幸いです。

幹事 E40 島崎絏巨





## C10 同窓会

8月13日に十々八で同窓会を行いました。案内状は住所不明で戻ってきたり、返答無しもありました。便りの無いのは・・・と言いますが、この年齢になると『大丈夫なんか』と思ったりもします。当日は、大体いつもの顔ぶれが揃いましたが、三十数年振りに参加した者が1名おり、皆を驚かせました。

宴のスタートは、いつも通り誰かが「もう飲まんまいか」で乾杯し、賑やかに始まりました。常々話題となるのは、家族、自分の健康そして仕事の



ことなどですが、毎年会っていても1年で状況も変わっていたりしており、尽きることなく時間が過ぎ、再会を期して無事終了しました。

幹事 C10 長井 宏之

## 卓球部 OB 同窓会

去る6月20日に東京駅正面の丸の内ビル36Fの中華レストラン「家全七福酒家」で富山高専卓球部OB同窓会を行いました。北陸新幹線開通効果か、元顧問の小川名誉教授を筆頭に6人もの富山勢が駆けつけてくれ、1Mから8Eまでの総勢14名での大宴会となりました。富山からの日帰りを考慮して13時スタートの中華ランチとしました。卒業以来47年ぶりの懐かしい面々もあり、本当に感動的な3時間がアツという間に過ぎ、それに続いてビアテラスでの2次会も盛り上がり、やが



て皇居の森に日が沈む頃に再会を約束して解散となりました。家に帰った後もまだ興奮冷めやらず、50年も前の学生時代が鮮やかによみがえり、なかなか寝付けませんでした。再会したその瞬間に50年もの歳月をさかのぼって、あの頃の17歳

の少年時代に戻れるなんて、なんと素晴らしい仲間達なのでしょう。本郷の里での5年間の部活動はいつの間にかこんなにも深い友情を育ててくれたのですね。仲間との固い絆を結んでくれた富山高専卓球部と小川先生にただただ感謝感謝です。都合悪く参加出来なかった皆様、次回の開催にご期待下さい。そして添付の写真、誰だか分かりますでしょうか。

1M 長谷 治男



## 同窓会助成部活紹介

### 卓 球 部 報 告

卓球部は今年女子部員2名を含む16名で活動を行っています。平成16年に部として再建されて以来、顧問として活動を見守って下さった瀬戸薫先生が、今年3月で定年退官される際に、卒業生有志の方々とともに新しい部旗を部員に送っていただきました。卓球部の伝統をこれからも守り続けるという意思から文字や旗色は一切変えず、「富山高等専門学校」の部分だけを新しい名称にしました。写真は、5月の春季大会のときに瀬戸先生が会場に来てくださった折、新しい部旗とともに皆で一緒に写真を取りました。(最右は金広コーチ、瀬戸先生は前列右から5人目「気魄」の“魄”の上あたり、左から2人目は昨年度から顧問になられた浦風先生)

活動は、水、日を除く毎日第一体育館で行っています。特に木曜日の練習には金広コーチやOBが集い試合形式の練習などに取り組んでいます。長い休みには、合宿や外部のチームとの練習試合も行っています。お陰様で、今年の北陸地区高専大会では男子団体3位、女子ダブルス3位という成績を収めました。また木曜日の練習に参加して下さっているOBの間で、「LEO」というチームも結成され、学生と共に市民大会に出場したり、合宿の練習に参加したり、大

会の応援に駆け付けてくれたりと、部として層の厚さが出来つつあります。

今年になってから公式試合球が従来のセルロイド製球から、プラスチック製球に変わり、在庫もなく値段が約5倍になったうえ割れやすくなり、これまでの部費だけでは賄いきれなかったところを、同窓会の補助を頂きまして本当に助かりました。これからも、部員一同練習に励み精進していきますので、今後とも応援よろしく願いいたします。



### 水 泳 部 近 況 報 告

富山高等専門学校本郷キャンパス水泳部は、各学年数名程度の少人数の部員数ではありますが、ここ数年全国高専大会出場・入賞の成績を収めております。今年度は、男子1名、女子1名、マネージャー1名が新たに加わり、また、昨年度からは水泳を専門とする仁木教員が顧問として加わり、全国大会優勝というより高いレベルの目標を目指し、日々練習に励んでおります。

今年度の高校総体では、例年同様、女子個人種目で3名および女子400mフリーリレー、400mメドレーリレーにて北信越大会への出場へ進めることができました。また、北陸地区高等専門学校体育大会では、男子3位、女子2位、総合2位であっただけでなく、男子個人種目で4名、女子個人種目で2名、男子400mフリーリレーにて、全国高等専門学校体育大会への出場することができました。また、全国大会での結果は、男子個人種目6位、女子個人種目4位となりました。

同窓会より賜りました助成金は、日々の練習に

おける市内のプール使用料へ活用させて頂きました。そのため、今年度はプールでの練習日を増やすことができ、部のレベル向上できましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。この結果に満足することなく、来年度からも目標である全国大会優勝に向けて精進していきたいと思っておりますので、今後も引き続き応援頂けます様よろしく願いいたします。



## 剣道部 近況報告

平成27年度の富山高専本郷キャンパス剣道部は、1年生男女5名が入部し、コーチの伊勢博行先生のご指導のもと、日々、道場で活気あふれる稽古を続けております。

7月に石川県立武道館で行われた第50回北陸地区高専大会では、男子団体4連覇、女子団体2位、個人戦では、木倉健成君(2M)が1位、森智希君(2M)が2位、堀祐里那さん(3M)が2位となり、それぞれ全国高専体育への切符を手に入れました。

8月末に熊本県で開催された第50回全国高専体育大会では、団体戦、個人戦ともに成績を残すことはできませんでしたが、目標とする攻めの剣道ができたのではないかと思います。中でも、男子団体戦は、全員が5年生の広島商船高専を相手に取得本数差1本で敗退。初戦敗退ではありましたが、インターンシップなどで主力メンバーを欠く中、今後につながる内容でした。

富山県高体連の公式戦でも、結果を残すことができるようになりました。昨年11月の秋季大会では、男子団体ベスト8、男子個人では、森智希君が5位入賞を果たし、ともに新人戦のシード権を獲得しました。また、6月の高校総体では、木倉健成君が

男子個人で5位入賞し、北信越大会に出場しました。女子選手も頑張っており、女子チームのキャプテンである堀祐里那さんは、昨年10月の昇段審査で参段に合格。県内でも数えるほどしかいない参段を持つ女子高生剣士となりました。

同窓会より頂きました助成金は全国大会や遠征の学生旅費などに活用させていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。来年度もさらに上をめざし、精進していききたいと思います。引き続き応援のほどよろしく願いいたします。



## 茶道部 近況報告

茶道部は、桐栄校長の代、学校長自らが福田恭子先生のお義母様を茶道部の先生として、三顧の礼でもって迎え入れたことに端を発すると聞いています。文化系部活の中にあって、非常に特徴のはっきりした伝統と未来志向の部活動です。当部の主だった活動は高専祭でお茶会を開くことですが、常時お点前の練習に励み、高専祭以外の学内行事や、海外の方々へのおもてなしにも実績を持ちます。



本来お点前は、畳の上にして行うものですが、現在では腰かけて行うお点前も一般的になっています。その際用いる立礼卓は、和室以外でお点前を行う際の必需品です。茶道部所有の立礼卓は、創部間も無い頃からのものと見られますが、毎回分解・組み立てで使う性質上、長年の使用により組み付け部が甘くなり、ぐらぐらして非常に使いづらい状況になっていました。

平成26年度から、30年以上ご指導いただいた福田恭子先生に代わり、水上栄子先生がいらっしゃいましたが、今年度は高専祭での使用もありますので、水上先生がお知り合いの道具師の方に頼んで、修理して下さいました。同窓会から助成金はその修理代金の一部に充てる事が出来ました。

平成27年度は、念願の男子部員の入部もあり、修理成った立礼卓を用いて練習に励んでいます。

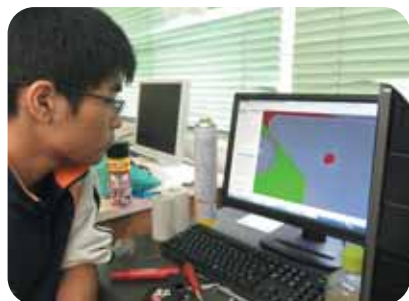
# 平成27年度 ロボコン報告

今年度の競技課題は「輪花繚乱」、ロボットによる輪投げ合戦です。たくさん輪を入れたチームが勝つ、非常にシンプルなルールです。しかし、輪投げに使う輪は、指定のホースを使って製作しなければなりません。そのため、自重で曲がるくらいの非常に柔らかい輪で競技を行うこととなります。ですので、柔らかい輪を如何に安定させて投げることが出来るかが重要になります。

ここで問題になったのは、どのようにして安定した輪投げを行うか、ということでした。そこで僕たちは、ローラーを使って輪を投げることにしました。ピッチングマシンの輪投げ版を考えてもらおうと分かりやすいと思います。ローラーの回転数と射出角度を可変することで、輪の飛距離を調整することが出来ます。現在の課題は、輪の個体差による飛距離のばらつきを如何にして少なくするかということです。



従来、僕たちは、ロボットの移動にタイヤを使用してきました。



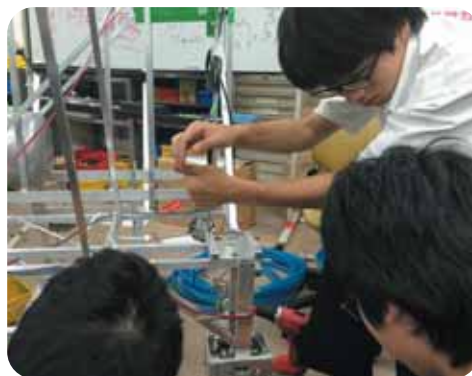
ですが、今年度は、ロボットの移動方法が大きく変わりました。それは、メカナムホイールを使った移動です。

メカナムホイールを使うと、ロボットを旋回させることなくあらゆる方向に移動させることが出来ます。そうすることで、移動にかかる手間を省くことが出来ます。



さらに、今年度は、パフォーマンスにも力を入れています。Augmented Reality、拡張現実を使った演出です。カメラをロボットに向けると、ロボットに付けてあるARマーカーをコンピューターが認識します。すると、コンピューターが出力している映像に仮想の物体が出現するというものです。僕たちは、ローラーの回転数と射出角度から輪の軌道を算出し、画面上にその軌道を表示しています。

今年度の競技課題も非常に難しいものになっています。やり遂げれば、大きな自信に繋がると思っています。



皆様のご声援は大変励みになります。どうか、よろしくお願い致します。

## 平成26年度ほんごう会



### 講演会(瀬戸先生)



ほんごう会のホームページアドレスは

ほんごう会  検索 <http://www.tk-hongou13.net/>

### 【会員専用ページ閲覧IDとパスワード】

ユーザーID : member

パスワード : passhongou13

英語で表示されるかも知れませんが上段にID、下段にパスワードを入力して下さい。

なお、メールアドレスは info@tk-hongou13.net です。